

(2面から続く)

深めれば、職域の拡大となり一人でも多くの障害者が就労可能になると思えます。ご所見をお伺いします。

市長 この五月から非常勤職員として就労相談員を配置し、就労相談や企業等を個別

長谷川議員 (政和会) 教育問題「親になるとは」について

親に対する考え方をどう持つかが親になる道だと思えます。親が見本を示せば子供はあのようにすればいいのかもしれない。親の気持ちや考えを親に伝えていくのが親になる方がよいが、やはり子供の手本は親だと思えます。親や祖先に今まで目を向けていなかった方は、それを改めれば必ず自分や家庭に変化があらわれると思えます。親が変われば子供も変わる。親にどう伝えていくのかという考え方が家風や家訓になれば、家庭はよい形になっていくと思えます。いずれ子供たちも大人になり、親となっていくと思います。そこで、親になる教育に力

親が変われば子供も変わる

に訪問して職場開拓に努めています。ご提案のジョブコーチにつきましても、現在、県央地域就労援助センター「ぼむ」に委託しております。一層利用しやすい制度になるように努めてまいりたいと思っております。

を入れていただきたいと思えますが、教育長のご所見をお伺いいたします。

教育長 子供にとって、親は育つ上での見本でございませぬが、残念ながら家族のきずなが揺らぎ、夫婦間の安定のない家庭環境の中で育つ子供たちがいることもまた事実です。

私たちは子供たちの親として、大人として、先人が築き上げてこられた家族としての教え、家風とか家訓とかこういう言葉もございませぬが、例えば嘘をつかないとか、人に迷惑をかけない、むだ遣いをしない、身だしなみに気を付ける、人には親切に、こついったことをどの家庭でも教えていると思えます。そういうことの大切さをもう一度考えていく必要があると思えます。

道州制を知っていますか?

吉田議員 (自民党明政会) 道州制について

道州制といいますが、私は今まで合併論を話させていたいただきました。明治四年の廃藩置県から昭和・平成の合併それらの合併が進むにつれて道州制という事になってきますが、政府及び自民党、さらに経団連等が道州制の導入についての議論を深めており

柏木議員 (日本共産党) 教育行政について

昨年九月議会で、中学校給食についての陳情が採択され、小学校の給食検討会で検討することになったが、半年たっても検討がされていない。経過を示してほしい。

平成四年に文部省が発行した『給食の手引き』では、「伝統的な日本文化としての稲作米飯について理解し、郷土食はその気候や風土から生まれ先人の知恵であることを知る」とあり、さらに指導計画では「児童・生徒、個人の嗜好や食べる速さ、量などには差がある。給食時は個々に応じた指導ができるよう配慮が大切」また、「給食の時間の指導はきわめて重要な学校教育で、単に食事を提供

学校給食の充実を図れ

おります。これらについて市長はどのようなお考えなのかお尋ねします。

また、都市データバンクを見ますと、全国八百六市のうち本市だけ景況天気図が記載されています。これは何か意味があるのでしょうか。

市長 合併新法のもとでの市町村合併の議論と道州制の議論とは、現時点では切り離して考えるものと理解しておりますが、住民のニーズにこたえる自治体づくりに向けた取り組みを進めることは、将来の道州制議論の前提になるものと考えております。

企画財政部長 東洋経済新報社の当該アンケートは、本市の位置的条件による利便性を全く担保しない集計方法となつているという判断から、今年度は回答を遠慮させていただきます。

すればよいと考える人が一部にあるが、誤解のないようにすることが大切」とも書かれている。給食は教育なのです。

給食の食材について地元生産者の顔が見え、安心して食べられることは子どもたちが食への関心を高める上でも重要です。地場産野菜を現在よりさらに多く購入していただきたい。また、給食費が県下で三番目に高くなつていきます。教育の環境である給食に対し、安定した食材を購入出来るように市として補助することを求めます。

教育長 中学校給食については、今年度教育委員会で、

稲垣議員 (公明党) 犯罪防止への明るいまちづくりについて

夜間、一般住宅の門灯や玄関灯などを点灯することで既存の防犯灯を補助し、道路を明るくし、ひったくりや住居侵入などの犯罪防止に大変に効果があります。電気料金は、十ワット電球で一晩十時間点灯しても一月百十円程度と云われています。

一軒がともす明かりは点に過ぎませんが、隣もそしてその隣も点灯していくことで明るさが線となり、さらには面となつて私たちのまちが明るくなつていきます。

その明るさアップで、犯罪抑止への効果も上がると思えますが、市民と一緒にまちを明るくしていくために、市が行う「まちの明るさアップ運動」の啓蒙啓発が大変に重要であります。

環境や電気料金の節約も大

基地問題への気持ちを示せ

竹市議員 (市民連合) 市長の政治姿勢について

市長の呼びかけに議会と自治会連絡協議会が応える形で二〇〇四年十一月に設立され、市側の運動主体であり交渉窓口でもあった「基地強化に反対する座間市連絡協議会」はその姿勢が全市民的なもので二十一年度には外部委員を含めた検討会を開催したい。

野菜の購入については、今後も出来る限り座間産を使用していきたい。給食費は近隣市より百円高いが今後も受益者負担をお願いしたい。

考えをお伺いします。

また、市長が次期選挙に立候補しないと決意された背景には、任期中に一定の方向性を見出して交代したいという気持ちもあつたと思えますが、当時、国が早急に示すとされた基地恒久化解除策は、今日まで示されずままです。九月までには示されなかつた場合、今、議場から、衆議院に出るべきだ」という声もありましたが、どういった態度をとるのかお聞きします。

コミセンの施設整備を急げ

佐藤議員 (政和会) コミュニティセンターの今後のあり方について

ホームページには災害時避難所の設置など情報収集ができるように整備されておりますが、コミセンにはいまだにインターネットが開設されていないと聞いております。今年度サニープレイス内に市民活動サポートセンターが開設され、ボランティアなどの情報報が双方から操作できるシステムが導入される予定ですが、

今後、インターネットの整備をどのように考えているのか伺います。

さらに、コミセンの経年劣化については、修繕計画を立てる必要があると思えます。ましてやコミセンは避難所に指定をされており、地域にとって身近な避難所だと思えます。避難所という観点からも安全を確保するために、修繕計画を立てる予定について伺っておきます。

また、防災用品はできる限り整備しておかなくてはいけないと思えます。現在、それぞれのコミセンに整備されている防災用品はどれくらいなのか伺います。

市長 インターネットの整備については、ホームページの開設や市民活動のさまざまな情報収集と情報提供の必要性から、整備を考慮する必要がありますと考えております。

通常の維持管理については状況を精査して計画的に取り組んでまいります。

防災用品については、防災備蓄倉庫を設置して、必要最小限のものを格納させていただきます。

街の明るさアップ運動

市長 市民に玄関灯を点灯していただくことは電気料金こそ個人負担になります。安全なまちをつくり出していくという観点から必要であると思えます。自連協にも投げかけて協力をお願いしたいと思えます。

伊田議員 (政和会) 中学校防災訓練について

西中学校では、全校生徒による避難訓練の後に、「救助

防災訓練体験学習の実施を!

市 内 全中学校

体験学習が実施されています。体験学習の内容は、非常食の炊き出し体験、簡易トイレの組み立て体験、避難所への傷病者搬送体験、テント設置体験などです。

この防災訓練体験学習は、現在、西中学校だけでしか行

わたれおらず、市内全中学校で開催されることを望むものですが、その実施について、「防災」の観点から担当部署の、「消防署職員や消防団員を派遣し、実際に指揮・指導」を目的として三年生による体験学習が実施されています。体験学習の内容は、非常食の炊き出し体験、簡易トイレの組み立て体験、避難所への傷病者搬送体験、テント設置体験などです。

市民部長 各学校の主体性のもと、防災教育や防災訓練の実施は、体験としての防災

知識の普及が図られ、防災意識の高揚につながるものと考えております。

消防長 体験として物に触れ、組み立て等を行うことにより防災意識の向上が図られることから有意義と考え、今後

教育長 もしもの時の行動に役立つものと考え、今後、防災担当、また消防とも連携、協力して学校を支援していきたいと思っております。